

No. 1248

## 企業 ZOOM up

## 東京反訳株式会社

セキュリティ重視で  
選ばれる「文字起こし」サービスを展開

今回紹介するのは、文字起こし（テープ起こし）というニッチな業界に身を置きながら、コロナ禍でも堅調な業績推移をみせる東京反訳（株）だ。当社の吉田社長は、もともとホームページ制作などを手がける広告関連会社を経営していたが、お客様であるお坊さんから「カセットテープに録音した法話の文字起こしをして欲しい」と相談されたことがきっかけで、文字起こしの可能性に着目。2006年に当社を立ち上げた。

「コロナ禍では、オンライン会議の増加に伴う議事録作成や現地外国人向けのオンライン研修用資料への字幕サービスなどの依頼が増加しました」と話す吉田社長。

当社のクライアントは国や各省庁、地方自治体、上場企業を含む民間企業、法律事務所、医療機関、研究者など幅広い。内容は社内会議から難しい専門用語が飛び交う学会、裁判までさまざま。年間2万件以上の依頼を受ける。

こうした高い専門性が求められる業務をこなすのは、当社に在籍する約750名のワーカーさん。一般知識や語彙力、注意力などを考慮して採用され、文字起こし活用推進協議会が実施する技能テストなどを通じて品質の維持・向上が図られる。AIには判別できない曖昧な言葉や方言もしっかり文字に残す縁の下の力持ちだ。

近年、金融機関から取締役会や経営会議に関する依頼が増えている当社。まさに信頼・安全性の高さが評価されている証だ。その秘訣はセキュリティ体制（ISMS国際規格）や見える化にある。極めて機密性の高い案件については通信不可環境の社内において完結させるほか、希望者にはセキュリティ環境の視察実施も行う。

料金の見積もりは1分単位で行われ、例えば収録時間60分の通常納品の場合、中2~3日での納品となり料金は税込みで1万8876円。特急納品は

「コープレートキャラクターはフクロウの木彫「ほんやくん」。社員旅行でフクロウの木彫りの置物を購入したこときっかけ」



中1日（税込み2万4486円）、ゆとり納品は中6日（同1万5180円）での納品となる。また、「あのー」「えー」といった文脈に関係のない言葉もそのまま起こす「ケバ付き・素起こし」や、発言の趣旨は変えずに分量を短くする「文字指定要約」などの選択もできるようになっている（追加料金あり）。

働き方改革が進められるなか、会議の議事録作成を任せられた担当者が長い時間を費やしボイスレコーダーの巻き戻しを繰り返してストレスになってしまっているケースは少なくないはず。また、文字化したデータを監督官庁や関係会社、取引先などに共有する必要がある場合は、時間や品質の観点からも当社のサービスは極めて有効といえよう。

「コンプライアンス、ガバナンス、ハラスマントなどデリケートな内容が増え、社内の人にも文字起こしをお願いできない現状があるようです。文字起こしのサービスを通して公正な社会づくりにも貢献していきたい」と現状と今後について話す吉田社長。利便性だけでなく、社会インフラとしての役割を担う業界となることを視野に入れた事業展開を進めていく。

（取材・文／情報統括部 阿部 成伸）

## 会社概要

東京反訳（株）  
T D B 企業コード：989470932  
法人番号：1013301023163  
東京都豊島区南池袋3-13-15  
大阪支店：大阪市北区南森町2-2-9  
電話：03-5960-1772  
代表：吉田 隆氏  
設立：2006年10月 資本金：1000万円  
事業内容：文字起こし、議事録作成など  
年収入高：約6億3083万円（2021年9月期）  
<https://8089.co.jp/>



HPはこちらから